

- 早川堯夫：臨床試験，“バイオテクノロジー応用医薬品”，内藤周幸編，薬事日報社，東京（2003），pp.155-179
- 早川堯夫，永田龍二：“医薬品の安全性”，長尾拓編集，南山堂，東京（2004）pp.31-51
- 吉岡澄江，阿曾幸男：“固体医薬品の物性評価，第6節緩和測定”，寺田勝英，山本恵司，米持悦生編，じほう，東京（2003）pp.141-169
- Yoshioka, S.: **Molecular Mobility of Freeze-Dried Formulations as Determined by NMR Relaxation, and its Effect on Storage Stability, In Freeze-Drying/Lyophilization of Pharmaceutical and Biological Products**, ed, Rey, L., and May, J.C., Marcel Dekker, Inc., (2004) pp.187-212
- 配島由二：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，発熱性物質試験，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.37-42
- 配島由二：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，エンドトキシン試験，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.43-50
- 配島由二，中澤裕之<sup>1</sup>，本郷敏雄<sup>2</sup>，宮崎 隆<sup>3</sup>，佐藤温重<sup>2</sup>：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，プラスチック製医療用具からのフタル酸エステル類の溶出特性とリスク評価，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003），pp.235-259
- <sup>1</sup> 星薬大  
<sup>2</sup> 東京医科歯科大  
<sup>3</sup> 昭和大学
- 矢上 健：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，天然ゴム製品のアレルゲン性試験，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.7-11
- 五十嵐良明：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，マウス感作性試験，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.1-6
- 五十嵐良明：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，抗原性試験，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003），pp.12-17
- 松岡厚子，土屋利江：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，遺伝毒性試験，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.18-27
- 中岡竜介，土屋利江：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，微粒子状物質の安全性，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.212-218
- 中岡竜介：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，材料表面の改質とそれに伴う生体成分への影響，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.219-224
- 佐藤道夫：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，埋植医療機器の不具合報告，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.250-258
- 伊佐間和郎：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，滅菌による材料変化と細胞分化機能，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.225-229
- 伊佐間和郎，土屋利江：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，金属イオン等と骨分化，土屋利江編，シーエムシー出版，東京（2003）pp.230-234
- 新谷英晴：“最新医療機器マニュアル”，医療機器の滅菌バリデーション，情報機構，東京（2003）pp.303-319
- 柳楽 勤，土屋利江：“生体物理刺激と生体反応”，メカニカルストレスに対する細胞応答の分子機構，大森豊明監修，フジ・テクノシステム，東京（2004）pp.667-677
- 土屋利江：“微粒子工学大系 第 巻 応用技術”，無機微粒子の安全性と生体適合性，柳田博明監修，フジ・テクノシステム，東京（2002）pp.743-748
- 土屋利江：“図解 再生医療工学”，再生医療とその周辺：再生医療をとりまく規制とその現状・今後，工業調査会，東京（2004）pp.296-303
- 土屋利江編集：“医療材料・医療機器の安全性と生体適合性”，シーエムシー出版，東京（2003）
- Tsuchiya, T.: “**Tissue Engineered Medical products (TEMPS), ASTM STP 1452**”，A Useful Marker for Evaluating the Safety and Efficacy of Tissue Engineered Products, Schutte, E., Picciolo, G.L., Kaplan, D.S., eds., ASTM International, West Conshohocken, PA (2004), pp.254-261
- 米谷民雄：“健康・栄養食品アドバイザー・テキストブック”，食品添加物，(独)国立健康・栄養研究所監修，山田和彦・松村康弘編著，第一出版，東京（2003.7）pp.207-216
- 米谷民雄，長岡（浜野）恵：“ミネラル事典”，アルミニウム，糸川嘉則編，朝倉書店，東京（2003.6）pp.365-372
- 米谷民雄：“安全・安心の基礎知識”，食品添加物の安全性は，総務省 国民安全事典編集委員会監修，(財)全国危険物安全協会発行，ダイヤモンド社，東京（2004.3）pp.346-347
- 米谷民雄：“医薬品の安全性”，食品の安全性，長尾 拓編，南山堂，東京（2004.5）pp.291-307
- 佐々木久美子：“HACCP：衛生管理計画の作成と実践・改訂データ編”，熊谷進，小久保彌太郎，小沼博隆，豊田正武編

- 集,中央法規,東京(2003) pp.387-396
- 佐々木久美子:“食品衛生検査指針・残留農薬編”,厚生労働省監修,日本食品衛生協会,東京(2003) pp.25-34 pp.60-75 pp.91-102 pp.236-241 pp.253-259 pp.436-446 pp.495-499 pp.852-856
- 高附 巧:“食品衛生検査指針・残留農薬編”,厚生労働省監修,日本食品衛生協会,東京(2003) pp.103-109, pp.472-472
- 村山三徳:“HACCP:衛生管理計画の作成と実践 改訂データ編”,熊谷進,小久保彌太郎,小沼博隆,豊田正武編集,中央法規出版,東京(2003) pp. 356-386
- 村山三徳:“食品衛生検査指針 動物用医薬品・飼料添加物編”,厚生労働省監修,日本食品衛生協会,東京(2003) pp. 3-5 pp.26-43 pp.68-79 pp.98-110 pp.117-135 pp.140-191 pp.226-227
- 穂山 浩:“食品衛生学 - 食の安全の科学 -”,遺伝子組換え食品,菊川清見・那須正夫編,南江堂,東京(2004),pp.283-297
- 穂山 浩:“考えよう地球環境 7 - 化学物質と健康の本”,バイオテクノロジー - が産んだ新しい食品,ポプラ社,東京(2004),pp.24-25
- 穂山 浩:“安全・安心の基礎知識”,遺伝子組換え食品やアレルギー現状は,総務省 国民安全辞典編集委員会監修,(財)全国危険物安全協会発行,ダイヤモンド社,東京(2004),pp. 348-349
- 河村葉子:“HACCP:衛生管理計画の作成と実践 改訂データ編”,熊谷進他編,中央法規出版,東京(2003) pp.335-348.
- Kawamura, Y.: “Effect of gamma irradiation on polyethylene, polypropylene, and polystyrene”, In “Irradiation of Food and Packaging-Recent Developments”, ed., Komolprasert, V., and Morehouse, K. M., American Chemical Society, Washington, DC. (2004), pp.262-276.
- 山本茂貴:“動物由来感染症 その診断と対策” 神山恒夫,山田章雄 編,真興交易(株)医書出版部 東京(2003) pp.166-168
- 山本茂貴:“食品の安全性評価と確認” 一色賢司, 豊田正武, 西島基弘 編,サイエンスフォーラム 東京(2003) pp.141-142
- 山本茂貴, 小久保彌太郎, 小沼博隆, 熊谷進:“食品の安全を創る HACCP”(社)日本食品衛生協会 (2003)
- 里見弘治, 伊藤蓮太郎, 山本茂貴, 小久保彌太郎:“食品の安全を創る HACCP HACCP プラン作成ガイド”(社)日本食品衛生協会 (2003)
- 山本茂貴:“食品安全システムの実践理論” 新山陽子 編(株)昭和堂 (2004) pp.39-48
- 山本茂貴:“食品衛生学” 太田房雄, 西島基弘 編 建帛社 (2004) pp.7-14, pp.190-193, pp.207-208
- 山本茂貴:“食の安全とリスクアセスメント” 熊谷進, 山本茂貴 編 中央法規出版(株)(2004) pp.18-20, pp.66-77
- 五十君静信他:“分子生物学歯科小辞典” 西澤俊樹監修 財団法人 口腔保健協会 東京 (2003)
- 宮原美知子:“分子予防環境医学,食中毒”,分子予防環境医学研究会編,本の泉社,東京(2003), pp323 ~ 333.
- 工藤由起子:“食の安全とリスクアセスメント”, 第2章 食品の安全性に関わる危害因子 2 細菌, 熊谷進・山本茂貴共編, 中央法規, 東京(2004) .
- 工藤由起子,他.西澤俊樹 監修, 分子生物学歯科小辞典, 口腔保健協会, 東京 (2003).
- 小西良子:“食の安全とリスクアセスメント” 中央法規,東京(2004) pp149-154
- 小西良子:“畜産物のマイコトキシン” 臨床獣医 4月号チクサン出版社,東京(2004) pp21-25
- 小西良子:“UJNR 有毒微生物専門部会第37回日米同部会” 食品衛生研究 5月号,日本食品衛生協会,東京(2003) pp17-19
- 小西良子:“パツリンの試験法について” 食品衛生研究 3月号,日本食品衛生協会,東京(2004) pp-11-16
- 澤田純一,手島玲子:“免疫毒性”,医薬品の安全性,長尾拓編,南山堂,東京(2004), pp229-241
- 手島玲子:“アレルギー”,食の安全とリスクアセスメント,熊谷進・山本茂貴編,中央法規,東京(2004), pp155-159
- 井上和秀:“慢性疼痛とミクログリア:ATP受容体の関与” 痛みの基礎と臨床.緒方宣邦,柿木隆介編,真興交易(株)医書出版部,東京(2003), pp93-101
- 山本 美智子他:“薬剤師の臨床業務に役立つ情報活用法” エルゼビア・ジャパン,東京(2004) pp.193-234
- 春日文子:“微生物学リスクアセスメントの実態” 食品の安全性評価と確認,一色賢司,豊田正武,西島基弘編,サイエンスフォーラム,東京(2003) pp.149-154
- 春日文子,山本茂貴:“微生物学的リスクアセスメント” 食の安全とリスクアセスメント,熊谷進,山本茂貴共編,中央法規,東京(2004) pp.65-77

- 石光 進他：“食品衛生検査指針・残留農薬編”，厚生労働省監修，日本食品衛生協会，東京（2003）pp.110-115，pp.153-162 pp.342-347
- 山本 都他：“必携 生物化学テロ対処ハンドブック”，生物化学テロ災害対処研究会，診断と治療社，東京（2003），pp.1-24.
- 鹿庭なほ子：“医薬品の分析法バリデーション”，林純薬工業株式会社，大阪（2003.11）
- 長谷川隆一他：“医薬品の安全性”，長尾 拓編，南山堂，東京（2004.4）pp.277-290
- 菅野 純：“食品の安全性評価と確認 第5章汚染化学物質の安全確認の実用的評価法 第4節 環境ホルモン”，一色賢司，豊田正武，西島基弘編集，スフォーラム，東京（2003），p p 123-127
- 平林容子：第9章臓器毒性 II. 血液毒性．In:長尾 拓編，医薬品の安全性，南山堂，東京（2004）pp.146-160
- 五十嵐勝秀：DNAチップによる内分泌かく乱物質の評価システム，環境ホルモンの最新動向と測定・試験・機器開発，CMC出版（2003）pp.242-246
- 大野泰雄：“新薬申請における薬物動態データの推移 - 過去，現状，ICH，今後の状況 - 薬物動態研究ガイド - 創薬から臨床へ”，佐藤哲男，堀井郁夫，山添 康編集．Life Science Information Center（2003）pp192-214.
- 大野泰雄：“非臨床試験の進捗状況から見た臨床試験の開始時期”，臨床試験2003，内藤周幸編集，薬事日報社（2003）pp181-198.
- 大野泰雄：“臨床試験，GMP，GLP，GCP，有害反応，有害反応に影響を及ぼす要因，相互作用，医薬品の安全性確保のために”，「医薬品の安全性」長尾拓編集，南山堂（2004）pp4-11.
- 大野泰雄：“光毒性試験”，「医薬品の安全性」長尾拓編集，南山堂（2004.3）pp27-29.
- 大野泰雄：“毒性試験の代替法”，「医薬品の安全性」長尾拓編集，南山堂（2004）pp27-29.
- 大野泰雄：“第四章 薬の毒性とその予測”，「医薬品の安全性」長尾拓編集，南山堂（2004）pp53-63.
- 大野泰雄：“ダイオキシンの安全性評価（TDI決定の経緯），食の安全とリスクアセスメント” 第7章特殊な化学物質の安全性評価，熊谷 進，山本茂貴共編．中央法規出版（2004）p136-148.
- 大野泰雄他：“トキシコロジー用語事典”（薬物動態，トキシコキネティクス，安全性薬理，及び動物実験代替法に関する用語77項目を担当），日本トキシコロジー学会編集，編集委員長：黒川雄二，編集幹事：遠藤 仁，大野泰雄，小野宏，佐藤哲男，土井邦雄，長谷川隆一，馬屋原 宏）じほう社，（2003）
- 小澤正吾：“臨床薬物代謝化学”，堀江 透・横井 毅編集，廣川書店，東京（2003），pp130-144
- 林 真，本間正充：“医薬品の安全性”，長尾 拓編，南山堂，東京（2004），pp. 91-104
- 水澤 博：“培養細胞なるほどQ&A”，第2章12 & 15，第6章62,63，64 68 69，巻末付録，許南浩編，日本組織培養学会，JCRB細胞バンク協力，羊土社，東京（2004）
- 増井 徹：“細胞培養なるほどQ&A” 2章17,7章，巻末付録3 & 4，許南浩編，日本組織培養学会/JCRB細胞バンク協力，羊土社，東京（2004）pp. 53-55 pp.160-173 pp.211-217
- 谷本 剛：“分析法バリデーション”，標準品の試験項目，情報機構，東京（2003）pp.267-291